

## 国際シンポジウムプログラム（全日程）

---

新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」第2回国際シンポジウム  
「ユーラシア地域大国の政治比較—中国、ロシア、インド、トルコ」

主催：新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」

共催：北海道大学スラブ研究センター、北海道大学 GCOE「境界研究の拠点形成」、  
法政大学中国基層政権研究所、早稲田大学現代中国研究所

後援：地域研究コンソーシアム

日時：2009年12月12日（土）、13日（日）

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 外堀校舎 S405教室

### 12月12日（土）

開会式

基調講演「地域大国の政治の流れをどう捉えるか？」

司会：唐 亮

報告：

塩川 伸明（東京大学）

「ペレストロイカ・冷戦終焉・ソ連解体：20年後の地点からのパースペクティヴ」

中兼和津次（青山学院大学）

「経済体制移行の比較研究：社会主義国はなぜ資本主義に向かって脱走するのか」

絵所 秀紀（法政大学）

「インド経済台頭の衝撃：開発の政治経済学の再検討に向けて」

ラウンドテーブル「地域大国の政治をどう比較するか？」

司会：毛里 和子（早稲田大学）

報告：田畑伸一郎（北海道大学）

近藤 則夫（日本貿易振興会アジア経済研究所）

天児 慧（早稲田大学）

高原 明生（東京大学）

松里 公孝（北海道大学）

懇親会（会場：法政大学）

12月13日(日)

**第1セッション「近代化と民主主義のためのサブナショナルな単位：ロシア、中国、インドの村社会とNGO」**

司会：デヴィッド・ウルフ（北海道大学）

報告：

トミーラ・ランキナ（ド・モンフォール大学、イギリス）

「ロシアとインドのサブナショナル民主主義を規定する諸要因：分析の予備的枠組み」

田原史起（東京大学）

「指導者、代理人、それとも傍観者？中国とロシアの農村におけるガヴァナンスと公共財」

光 磊（サンディエゴ大学、アメリカ）

「社会紛争と紛争解決の政治学：地方における国家・社会関係の中印比較」

討論：家田 修（北海道大学）

**第2セッション「偉大さへの鍵。地域大国の宗教政治」**

司会：宇山 智彦（北海道大学）

報告：

ダニエル・ペイン（ペイラー大学、アメリカ）

「正教例外主義とアジア的価値：ロシアと中国の人権理解の比較研究」（クリストファー・マーシュおよびジョナサン・ミズタと共著）

松里 公孝（北海道大学）、澤江史子（東北大学）

「信教国家の再建：トルコ、ロシア、中国におけるイスラーム教会論」

三輪 博樹（中央大学）

「南アジア地域における民族・宗教紛争と外交政策」

討論：飯塚 正人（東京外国語大学）

**第3セッション「社会階層の再編と社会的亀裂」**

司会：唐 亮（早稲田大学）

報告：

ヴァムシ・ヴァクラブハラナム（ハイデラバード大学、インド）

「階級は重要か？中国とインドにおける階級構造と不平等の昂進」

林 裕明（島根県立大学）

「ロシアの中間層-構成と価値観に見る多様性」

園田 茂人（東京大学）

「中国、インド、ロシアにおける社会的不平等の認識の違い：2008年アジア・バロメーターの比較分析」

討論：菱田 雅晴（法政大学）

閉会式